

事業報告書

1 支援団体名	諫早手話サークル			
2 事業名称	となりぐみ「まち歩き探検隊」(聴覚障害者の災害ネットワーク作り)			
3 支援金額	200,000円			
4 実施日時	平成21年4月～平成22年3月			
5 実施場所 6 事業目的、内容及びその効果 7 参加内訳	(事業実施状況・内容)		サ)サークル員 ろ)ろうあ者	
	日時	曜日	参加人数	
	5/20	水・夜	探検隊:避難ルート確認	サ)11 ろ)4 その他)2
	6/17	水・夜	探検隊:国交省出前学習会「地図作りのポイント」	サ)15 ろ)3 その他)6
	7/8	水・夜	探検隊:準備(説明・班分け・ルート確認)	サ)10
	7/20	月・祝	まち歩き探検隊 本番	サ)19 ろ)6 その他)9
	8/24	月・昼	探検隊:防災マップ作り	サ)5
	9/5	土	第37回全九州手話通訳者研修大会 in 大分 第3講座講演「防災・減災—今の私たちにできること」	サ)5 全体(約50人)
	10/4	日	県ろう協・県手連共催「防災・減災活動 情報交換会」活動発表	サ)7 ろ)4 全体(51人)
	10/19	月・昼	AED 救急救命講習会	サ)10 ろ)4 その他)1
	11/8	日	第38回ろう文化フェスティバル	(210人)
	3/7	日	第41回耳の日集会	西山ホール(386人)
	3/19	金	県社協主催「自治・福祉・防災—地域づくり研修」活動報告「聴覚障害者のとなりぐみネットワーク作り」	サ)11 ろ)4 全体(64人)
3/21	日	諫早市ボランティアフェスティバル	サ)15 ろ)3	
8 今後の方針	<p>(事業実施効果)</p> <p>①となりぐみ「まち歩き探検隊」 ここ3年の取り組みの集大成として、今年度の目標としたモデル地区に在住する5名のろうあ者の方に、災害時の避難ルートのマイ防災マップを贈呈することができた。探検隊で繰り返し一緒に歩くことで、「自分の命は自分で守る」意識の啓発と、個々の避難ルートを再確認することができた。 また、参加した別のろうあ者から、自分たちの地域にも探検隊に来て欲しいとの要望があり、今年度は別の地域を探検する予定になっている。</p> <p>②となりぐみバンダナ普及 「自分の命を自分で守る」ための防災グッズとして作成。常に携帯し、緊急災害時、目で見てわかりにくい聴覚障害者の方が「私はここにいますよ!」とアピールできる。反転で使用すると「手話でお手伝いができます!」と、今の自分にできることをアピールする手話ボランティア用のバンダナに変身する。聞こえない人と聞こえる人・心をつなぐバンダナ。県内のろうあ協会会員、県手話サークル員に普及。県外からも反響があり普及した。となりぐみバンダナを通じた防災減災のネットワークが広がっていている。</p> <p>③地図作り出前講習会・AED救急救命講習 講師を招いて、防災意識を高める学習会も開催。参加ろうあ者やサークル員の自助・共助の意識の向上につながった。</p> <p>④防災減災ネットワーク作りの取り組み発信 9/5「全九州手話通訳者大会分科会」、10/4「県内情報交換会」、3/19「自治・福祉・防災—地域づくり研修」と、3回も活動の情報発信の場を頂いた。 地域の中で、聴覚障害者における防災減災の取り組みが本当に大切であることがアピールできた。</p> <p>①となりぐみ「まち歩き探検隊」 諫早市内在住のろうあ者の方に1人一枚「マイ防災マップ」提供することを目標に、毎年新しい地域をろうあ者の方たちと探検していく予定。 ②となりぐみバンダナ普及 「自分の命を自分で守る」ための防災グッズを全国にも発信していきたい。 ③出前講習会 防災意識を高める学習会も継続して開催する。 ④防災減災ネットワーク作りの取り組み発信 様々な場所で私たちの活動を発信することで、地域の聴覚障害者理解に勤めたい。</p>			

6/17 出前学習会「地図作りのポイント」



7/20 まち歩き探検隊



11/8 となりぐみバンダナ作成



3/19 バンダナアピール



3/19 県社協主催

「自治・福祉・防災—地域づくり研修」活動報告



7/20 まち歩き探検隊 マイ防災マップ(5名分)

